

(3) 講師・助言者

① 面接講師

県立保育専門学院講師	橋本 正幸
福島女子短期大学助教	渡辺 俊彦
郡山女子大学助教	小森 澄憲
郡山女子大学助教	大橋 綾子
郡山女子大学講師	竹内 博
早稲田 速記	栗城 正義
日本通信美術学園	佐藤 玲子
県立郡山女子高校教諭	蓬田 寿子
県立郡山女子高校講師	石井 文子
大沼郡会津高田町立尾岐小学校教頭	須佐 久男
日本学芸協会	小林金次郎
会津若松市社会福祉事務所児童福祉司	篠田 恵子
医療法人済生会長橋病院院長	鈴木 将夫
いわき市社会福祉内郷事務所社会課長	高萩 定雄
平保健所保健係長	大河原ヨシ
浜児童相談所主任児童福祉司	小野木茂雄

② 助言者

県教育庁社会教育課社会教育主事
 県教育庁教育事務所社会教育主事
 開催地市教育委員会事務局社会教育担当者

12 高等学校開放講座

(1) 趣 旨

県立高等学校の専門的教育機能を活用して、高校開放講座を実施し、県民資質の向上に努める。

「福島県社会教育活動費補助金の交付等に関する要綱」
 にもとづく「昭和50年度高等学校開放講座実施細目」によ

り、開設・運営に要する経費の一部を補助する。

(2) 実施主体

高等学校開放講座運営委員会

① 運営委員会組織

開設希望市町村教育委員会・地域社会教育関係団体・地域職域関係団体・開設高等学校・講師・受講生・教育事務所社会教育担当職員の代表をもって構成することを原則とする。

② 補助対象

福島県社会教育活動費補助金の交付に関する要綱、別記3高等学校開放講座費に基づく、高等学校開放講座運営委員会による高等学校開放講座7講座

③ 講座の人員及び学習時間数

一講座の構成人員はおおむね40人、学習時間数は30時間以上（実施は継続又は断続開講とする。）

④ 講座内容

地域の特性や受講者のもつ学習課題及び開設校の施設設備や教職員の状況を考慮し、運営委員会の協議により、系統的講座学習の内容を定める。

ア 農・工・商業等職業、技術、生産に関する講座

イ 家庭生活・家庭教育等に関する講座

ウ 芸術・体育・レクリエーション・趣味等に関する講座

エ 政治・経済・法律・時事問題等に関する講座

オ 自然科学・文化・郷土史・文学等に関すること。

カ その他、特に必要と認められる講座

(3) 補助金

1講座につき5万円を交付する。

(4) 昭和50年度高等学校開放講座開設一覧

開放講座運営委員会名	講座名	内 容	対 象	期 間
安達東高等学校開放講座	婦人百科講座	身近かな素材を生かした手芸、食生活のくふうを通して、家庭婦人の生活に創意とuringおいを養うことをねらいとする。	家庭の主婦 40名	12月～51年2月
	料理百科講座	食生活の改善のために基礎的な料理の知識と技術を身につけて、健康管理と経済的な生活向上を図ることをねらいとする。	家庭の主婦 40名	12月～51年2月
東白川農商高等学校開放講座	高等農民講座	農業経営の基本的問題、幹幹作物の生産技術、主産地形成に対する経営能力、生活改善の知識等について学習し、これを農村社会教育面に活用し、科学技術の発達、生活構造の発達変化等最近における農村社会の進展に応じ農業の近代化を積極的にすすめて行く能力を養成する。	一般成人男女 40名	51年1月
会津工業高等学校本郷分校開放講座	陶芸教室	本郷分校の窯業に関する教育機能を開放し、地域の青年・成人に実技をとおして陶芸についての教養講座を開設する。併せて、地域の振興と生涯教育の振興を図る。	青年・成人の陶芸愛好者 40名	7月
相馬農業高等学校開放講座	園芸講座	盆栽を中心とする講座により、一般愛好者を対象として基礎的な知識の理解と技能の習得をねらいとする。	青年・成人 40名	8月
相馬女子高等学校開放講座	市民民踊体操講座	古くから唄われ、親しまれている民謡とその踊りを体操として取り入れ、楽しみながら体操をすることにより、中高年齢層の運動不足の解消を図り、体内の新陳代謝を増進させ、成人病予防運動及び精神安定運動として、地域住民の健康と福祉の増進に寄与する。	一般成人 40名	4月～51年3月
平商業高等学校開放講座	商業簿記講座	商業簿記の初歩から簿記検定3級までを目標に会社事務職等に従事している若い人を対象に商業簿記の基本を指導する。	勤労青年 50名	8月～10月